

教 区 報

第104号 2015年12月

日本ハリストス正教会教団
東日本主教々区

発行：東日本主教々区宗務局

〒980-0021 仙台市青葉区中央3丁目4番20号

電話 022-225-2744 fax 022-224-3080

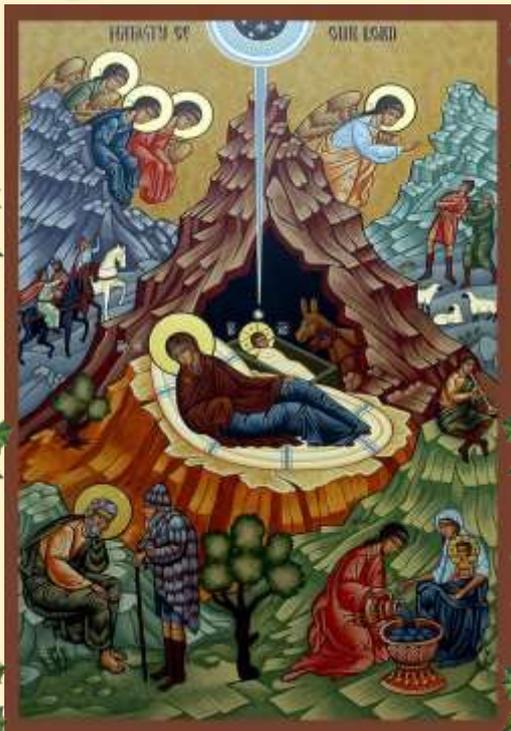
振替 02200-2-30428「東日本主教々区宗務局」

<http://www.orthodox-sendai.com/>

orthodox@hyper.ocn.ne.jp



主の降誕祭



至高きには光栄神に帰し、
地には平安降り、
人には恵臨めり
—ルカ伝 2章14節—

神はマリヤを選んで独り子を世に遣わされ、神自身から私たちを同類の如く身内とされた。神にとって人間はどんなにか愛の対象となつてゐるのだろうか。ご自分の手の中に私たちを抱き込んだとすれば、私たちは神の救いの手から逃れる術は失つてしまつた。主の降誕とは私たちをこのような状態に置いた、人類の救いのしるしなのである。

主イイスと一体になればこそ私たちの唱える「父」は主が呼びかける「父」

と同じなのである。主はかつて絶望の淵に沈んでゐる者に本来の、神に愛される尊い存在であると知ることが出来るように人々を癒した。そして、その癒しは徳に秀でた者たちに向けられた。不誠実を重ねる日常を送つてゐる罪深い私たちであつても、主の教えられた事をたとえしくじりながらも努力すれば、星に導かれて天路を歩むことになる。

ハリストス生る、崇め讃めよ！



モスクワ 7/28

ウラジーミル大公永眠1000年祭

セラフイム大主教座下は7月28日を中心にモスクワで開催されたウラジーミル大公永眠千年祭の記念行事に出席された。世界各国の正教会からも代表団が参加し、座下は日本正教会代表として各国代表団とも交流を深められた。

滞在中、各種記念行事に参加されたが、ウラジーミル大公の記憶日である7月28日には救世主大聖堂での記念聖体礼儀に引き続き、クレムリンでの大統領主催の各国代表団の歓迎会にも出席された。



▲キリール総主教聖下にご祝辞を述べられる



▲7月26日モスクワ市内の「聖戦士イオアン聖堂」で聖体礼儀をご祈祷される



▲アメリカ正教会（OCA）代表団のオタワのイリネイ大主教座下らと交流を持つ

セラフイム大主教座下の ウラジオストク・沿海州訪問 9/10-15



▲ヴェニアミン府主教に不朽体が収められた器を手渡す



▲日本正教会からのメッセージを伝えられる大主教座下



▲ナホトカのカザン大聖堂で聖体礼儀をご司禱



セラフイム大主教座下は9月10日から15日までの日程でウラジオストク府主教管区の諸教区を訪問された。聖ニコライの不朽体をヴェニアミン府主教座下の管区内の主だった聖堂や修道院に安置したいという要請に日本正教会が応え、ウラジオストクの副主教でウスリスクの主教であるインノケンティ座下と一年がかりで計画を進めて実現したものである。

ウラジオストク、ウスリスク、ナホトカ、アルセニエフと4つの教区を巡られたが、どの教区も聖ニコライの不朽体を迎えた喜びに沸いた。これらの地方は日本と近いこともあり、聖ニコライとその宣教事業に対する関心は高く、ウラジオストクでは国立博物館で特別の展示会も開催された。



▲ウスリスク市郊外の生神女誕生修道院で

◀アルセニエフの福音大聖堂前で不朽体の到着を待たれるグリー主教



平成27年度教区会議

仙台正教会 6/27-28



▲信徒会館で行われた教区会議の様子



▲誦経者の祝福を受けるステファン鈴木良美兄



▲長年のご奉仕に感謝 ステファン荒浜哲夫兄

6月28日(日)午後1時より、平成27年度東日本正教々区「教区会議」が今年は仙台正教会4階ホールで開催された。教区理事会はこれに先立って前日27日(土)午後1時より行われた。

28日の主日聖体礼儀では、時課の読まれる中、小樽正教会のステファン鈴木良美兄がセラフイム大主教座下によって誦経者に祝福された。また聖体礼儀に続いて5月にご永眠されたイオフ馬場神父様を記憶してリテイヤが献ぜられた。

聖体礼儀終了後には、主教着座15年を迎えられた大主教座下に対して教区、神品、仙台正教会から祝意を表してお祝いと花束が贈呈された。また長年教区会計監事としてご奉仕されてきた盛岡正教会のステファン荒浜哲夫兄に対して感謝状と記念の十字架が贈られた。

会議では教区活動全般と会計収支の報告がなされ、また次年度の計画と予算が審議された。新しい宣教リーフレット類も刊行していく予定である。



平成27年度全国公会

東京本会 7/11-12



▲信徒会館での本会議の様子



▲セルゲイ府主教および全永眠神品のパニヒダ

7月11日(土)午後1時より、平成27年度の全国公会が東京本会で開催された。初日は宗務総局から昨年度の活動報告がなされ、また宣教企画委員会、献金委員会、諸規則検討委員会からも報告がなされた。

翌12日(日)は聖体礼儀中2名の長司祭昇叙、1名の金十字架祝福があり、聖体礼儀後には戦後70年の節目にセルゲイ府主教と全永眠神品のパニヒダが行われた。公会2日目は会計報告と予算が提案され了承された。また人事異動が発表され、盛岡のミハイル対中神父が東京へ、大阪のダヴィド水口神父が盛岡へ、名古屋の松島神父が大阪へ赴任となった。また西日本主教々区で2名の自給司祭が叙聖される旨発表された。



▲ダヴィド水口神父とオリガマートシカ

ダヴィド水口神父様の赴任

この度盛岡管轄の司祭として大阪正教会からダヴィド水口優明神父様(53歳)が赴任された。かつて一関正教会の伝教師として3年を過ごされたご経験もある。教区、そして東北ブロックに新しい風を吹き込んでいただくことを期待している。どうぞよろしく願いいたします。

セラフィム大主教ご巡回



▲函館正教会でのパニヒダ

■函館正教会でのパニヒダ

10月27日(火)、函館正教会聖堂にて昨年ご永眠されたニコライ神父様の母ニーナ姉の一年祭パニヒダをご司祷された。



▲前橋聖ニコライ聖堂の宝座成聖

■前橋正教会成聖式

11月3日(火)、前橋では新聖堂・亜使徒日本の大主教・聖ニコライ聖堂の成聖式が行われ、ご招待を受けて参加した大主教座下は各教会から集った100名を超える参拝者らとともに新聖堂落成をお祝いされた。

■神戸での墓地祈祷

11月13日(金)、昨年教団に多額の遺贈をされたデミトリエフ・マリヤ姉の一年祭で神戸を訪れられ、永遠の安息を祈られた。



▲神戸外国人墓地での墓地祈祷

■西日本教区センター成聖式

6月21日(日)に京都を訪問され、西日本主教々区の教区会議に合わせて開催された「西日本教区センター」の成聖式と祝賀に出席された。

なお、京都正教会では10月11日(日)にナファナイル小川卓師(徳島)が、12日(月)にはグリゴリイ伊藤慶郎師(名古屋)がそれぞれ司祭叙聖され、西日本教区の新司祭としての門出を祝い、この教区センターで盛大な祝賀会が行われた。



▲西日本教区センター成聖式での記念撮影

■中新田正教会で収穫感謝祭

10月18日(日)、中新田正教会で主日聖体礼儀に引き続いて収穫感謝のモレーベンが行われた。祈祷後は婦人会、信徒の皆さんが心を尽くして用意した料理、新米のおにぎり、炭火焼のサンマなどをいただき、喜びに満ちた収穫感謝祭となった。



▲西日本主教々区に2名の新司祭誕生

グレゴリイ伊藤神父(左)、ナファナイル小川神父(右)



▲中新田正教会聖堂での記念撮影

白河生神女進堂聖堂建立百周年記念行事 東北ブロック信徒懇親会の開催

10 / 25・26

10月25日(日)、白河正教会では現在立つ白河生神女進堂聖堂建立百年の記念行事が開催された。セラフイム大主教座下をお迎えして記念聖体礼儀が行われ、福島や懇親会参加者も参拝した。また大主教座下からは聖ニコライの不朽体が下賜され、皆でモレーベンを行った。

午後には市内の音楽ホールにて仙台正教会の正指揮者マトフェイ兄によるピアノリサイタルが行われた。二百七十名収容のホールには多数の市民や信者が集まってほぼ満席となり、正教会の展示にも関心を寄せた。県の文化財として日頃支援して下さる市民に、建物以外

の教会の存在を知って頂き、また感謝の意を表す機会とすることが出来た。

夕方、場所を那須高原のホテルサンバレー那須に移し、東北ブロック信徒懇親会が開催された。あいにく木枯らしの舞う風の強い日であったが、一年ぶりに再会した信徒同士が和気あいあいと語り、互いの近況を報告し合った。一関正教会からはバザーで集めた洪水被害への募金が中新田正教会の被災信徒に手渡され、皆も拍手で励ましの意を表した。



▲百年を迎えた聖堂での記念撮影



◀マトフェイ兄によるリサイタル

▶教会の展示物に見入る来場者の方々



平成27年度 東北ブロック信徒懇親会



▲那須で開催された信徒懇親会

北海道ブロックの「キャンプだホイ！2015 in 道南」は7月28日から30日の日程で北海道青少年自然の家（ネイパル森）を会場に開催された。函館と上磯正教会がホスト役となって、バター作りや缶バッチ制作、北海道新幹線の駅見学やトマト収穫、そして神父講話など盛り沢山のメニューで行われた。

教会での祈祷や子供達の聖歌練習など信仰の学びの体験も盛り込まれた修養会となった。子供たちはそれぞれに夏の楽しい思い出を作ったことだろう。



教会学校夏季修養会



東北ブロックの修養会は7月27日、28日の日程で石巻正教会担当のもと石巻市鮎川のおしか家族旅行村を会場にして行われた。震災後初めての海を会場とした開催であった。猛暑の中、浜での海水浴、いかだ遊び、綱引き、スイカ割などを思う存分楽しんだ。屋外での夕食時には子供たちによる手作りの紙芝居「イオナの大魚」を鑑賞。暗闇の港では懐中電灯片手にカニとりに興じた。翌日は風船と和紙によるランプシェードを作成。思い出の品ができた。

研修会と宣教会議



◀ 釧路正教会聖堂にて

■北海道ブロック誦経奉仕者研修会

8月28日(金)から30日(日)の日程で釧路正教会において標記研修会が開催された。生神女就寝祭と主日の2回の晩祷、聖体礼儀をはさみ、講義と実技形式で行われた。参加者は日頃誦経奉仕をされている方が多く、今回は祈祷全体の本来の組み立てと、省略されている部分をきちんと理解し、祈祷の構成を理解することを主眼とした。

▶ 会館での研修



■東北ブロック聖歌研修会

11月7日(土)、8日(日)に一関正教会で聖歌研修会が開催され、一関管轄の教会を中心に約60名の参加者が集い、単音聖歌と誦経を学んだ。共に講義と実技があり、2グループに分かれ聖歌はエカテリナ児玉姉、誦経はマルコ小池神父が担当して行われた。奉仕者としての基本的な心構えと奉仕の実際を体験することを中心に据えた内容であった。研修のまとめでは自由な意見交換が行われ、初めて研修に参加した方の感想や自教会での取り組みや悩み、これからの研修会への要望などが出された。

◀ 一関正教会聖堂前で



▶ 誦経の研修



■宣教会議と教会学校教師会

東北ブロックでは9月17日(木)に一関で今年度第一回の宣教会議が行われた。今年度の予定されているブロック行事について確認し、各内容について検討され、特に宣教キャラバンなどは今後どのような形にするかなど討論された。

◀ 東北一関



北海道ブロックでは11月14日(土)、15日(日)に小樽正教会を会場にして宣教会議と教会学校教師会が行われた。次年度のブロック活動のおよその計画案を話し合った。教師会では札幌の定期的な活動が報告され、また来年の「キャンプだホイ！」他の日程、内容等を協議した。

▶ 北海道小樽



永遠の記憶

7月31日(金)、長司祭ペトル及川淳神父様(85歳)が脳出血のため盛岡でご永眠された。昭和33年に正教神学院を卒業され、翌年司祭叙聖以来平成16年に休職されるまで45年の長きにわたり司祭職を全うされた。

埋葬式は8月4日(火)、盛岡正教会にてセラフィム大主教座下ご司祷のもと東北の神品が陪祷して執り行われ喪主はご長男の京都正教会管轄司祭パウエル及川信神父様がつとめられた。

10月3日(出)午前9時半、肝臓癌を患い療養されていた上武佐のイオアン菊池道夫輔祭様のご永眠された。埋葬式は上武佐正教会にて10月6日(火)、セラフィム大主教座下のご司祷で、北海道ブロックの神品、並びに前管轄のミハイル対中神父様陪祷のもと行われた。お二人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。



長司祭ペトル及川淳神父様



イオアン菊池道夫輔祭様



▲上武佐正教会でのイオアン輔祭様埋葬式

▼盛岡正教会でのペトル神父様埋葬式



◀大崎市の河川氾濫



▶中新田渡辺執事長宅

9月11日(金)、大雨特別警報の出た宮城県では、大崎市渋井川の氾濫で住宅及び田畑が冠水、また鳴瀬川も氾濫危険水位に迫り、河川敷の畑が完全に水没した。この地区に住む中新田の信徒に家屋床下浸水と畑の冠水被害が報告された。幸い人的被害は無かったが、教区から小池宗務局長と管轄の加藤神父が現地へ赴いて被災者を慰問しお見舞いを届けた。

中新田の洪水被害

降誕祭クロスワードパズル

降誕祭にちなんだ言葉を主に使用したクロスワードです。ヒントの中で、その言葉の意味や関連する話を盛り込みました。パズルを解きながら、学びを深めましょう。 作成：司祭ダヴィド水口優明

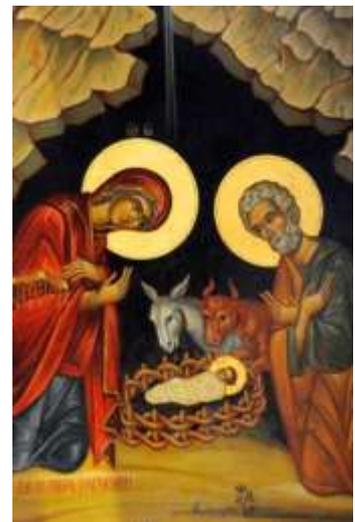
ヨコのヒント

- 1 ベツレヘムの野原でハリストスの降誕を天使から聞いた人々。彼等は素直で純朴な人々を代表する一方、ダヴィド王がそうであったように民の指導者たちをも象徴している。
- 2 ハリストスは〇〇であり人である。ただし、人が神になったのではなく、神が人となった。
- 3 「爾の〇〇は天より広きものとなりたればなり」(パニヒダ) 生神女マリヤは驚くべきことに、天におられる筈の神をお腹の中に入れた。
- 4 東方の博士を、降誕したハリストスのもとへ導いたもの。彼等はそれを拝む者だったが、今や、真実の神ハリストスを拝む者となった。

- 5 困難にあっても志を貫くこと。服従しないこと。致命者と呼ばれる人たちは、迫害を受けてもこの精神で信仰を貫いた。
- 6 「ハリストス我が神や、爾の降誕は世界に〇〇の光を照らせり」(降誕祭のトロパリ) ハリストスの到来によって、全世界の人々が、真実の神を知ることができるようになった。
- 7 「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を〇〇して下さった。」(ヨハネ3章16節) ハリストスの降誕は、私たちの救いのために神ご自身が自らを低くしたことを意味する。降誕祭は、神のいつくしみを心から感じる祭。



1	8		9	10
2			6	
		5		
	4			C
3			7	
	A			



タテのヒント

- 1 「わたしは世の〇〇〇である。」(ヨハネ8章12節) ハリストスは「〇〇〇よりの〇〇」(信経)であり、すべての人を照らす者としてこの世に降誕したお方である。
- 4 「地は載せ難き者に〇〇を献ず」(降誕祭のコンダク) ハリストスが生まれた場所は馬小屋ではなく、洞窟である。これは闇の世界、すなわちこの世を象徴する。闇を照らす光としてハリストスは降誕した。
- 5 「ハリストスの聖体を受け、〇〇の泉を飲めよ」(領聖の時の聖歌)
- 8 「彼女は男の子を産むであろう。その名をイイススと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの〇〇から救う

- 者となるからである」。ハリストスは私たち罪人を救うために降誕された。
- 9 幼子イイススは、飼い葉桶の中に置かれた。そこは宿屋ではなく〇〇〇の飼われていた所だったから。「牛はその飼主を知り、ろばはその主人のまぐさおけを知る。しかしイスラエルは知らず、わが民は悟らない」(イザヤ1章3節)の預言から、正教会ではそれらはロバと牛と言う。
- 10 「爾、〇〇〇〇〇の根より出でたる枝」(降誕祭のイルモス) ダヴィド王の父親の名前。イザヤ書11章1節の預言をもとに、ハリストスがダヴィド王の血筋から降誕したことを表す。

A	B	C
---	---	---

は星にしたがって旅する

— 宣教献金の御礼とお願い —

＋主の御名によりてご平安をお祈りいたします

皆様方のご理解とご協力を賜り、昨年度は408件2,149,000円の宣教献金が寄せられました。目標を超える御献金を賜り厚く御礼申し上げます。

さて今年も年末が近づき来年に向けて教区の宣教献金をお願いする時期になりました。教区の研修や各種の補助等への活用のみならず、地方の教会の活性化にも寄与する宣教献金です。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

- 2015年度宣教献金目標額 200万円
- 献金額 1口 3,000円 (1口以上を目安にお願いいたします)
- 献金方法 同封の郵便振替用紙に住所、所属教会名、聖名、氏名を記入し
これまで通り、最寄りの郵便局(ゆうちょ銀行)にて手続き下さい。
- 期 間 2015年12月10日 ~ 2016年5月31日

人物消息

— 敬称略 —

(2015年5月～2015年11月)

<p>◆永眠「教会名・聖名・氏名・永眠日」 上武佐輔祭イオアン菊池 道夫 10月3日</p>	<p>◆婚配「教会名・聖名・氏名・婚配日」 函館 アフアナシイ信平 優作 8月3日 上磯 トロフイム坂下 政孝 5月4日 仙台 イオアン 堀井 美里 7月26日 ナデジダ 青柳 彩子</p>	<p>※婚配おめでとうございます。</p>	<p>※洗礼おめでとうございます。</p>	<p>◆洗礼「教会名・聖名・氏名・受洗日」 札幌 ミロピヤ 竹谷 優里 4月2日 エレナ 山本 優奈 4月2日 コルニリイ 佐藤 淳 5月14日 ミハイル 高橋 龍史 6月14日 エカテリナ 柴田 久栄 8月8日 アナスタシヤ 柴田 尚美 8月8日 ノンナ 後藤 邦子 8月23日 マリヤ 高橋 恵久 7月5日 イオアン・アルトゥホフ 7月25日 アフアナシイ信平 優作 8月2日 アンナ 三上 貴子 8月2日 アントニイ水谷アルベルト 8月3日 ミハイル・パノフ 9月9日 ワシリイ 中田 哲雄 9月13日 イオアン 清水 格 6月21日 ソフイヤ 平澤 昌子 11月15日 ゾシマ 天野 斉 9月19日 マリヤ 天野 由紀 9月19日</p>	<p>◆永眠「教会名・聖名・氏名・永眠日」 上武佐輔祭イオアン菊池 道夫 10月3日</p>
--	---	-----------------------	-----------------------	---	--

<p>白河 イオアン 渋谷 捷成 7月11日</p>	<p>福島 エカテリナ 本間サヨ子 6月14日</p>	<p>中新田 アイヤコフ 菅原守 9月30日</p>	<p>マールファ 近野一枝 5月17日</p>	<p>アンナ 鈴木信彦 5月13日</p>	<p>カレリヤ 荻生千津 3月18日</p>	<p>ユリヤ 須藤よしゑ 9月6日</p>	<p>フェオドル 遠藤守雄 5月4日</p>	<p>モイセイ 伊藤欽一 5月10日</p>	<p>サン普森 大嶋廣一 5月25日</p>	<p>アナスタシヤ 千葉都代 11月2日</p>	<p>マリヤ 津島奈保子 9月15日</p>	<p>エレナ 鈴木昭 8月27日</p>	<p>イグナテイ 加藤はな 11月7日</p>	<p>イオアン 岩澤 11月17日</p>	<p>長司祭ペトル 及川 淳 7月31日</p>	<p>フェオドラ 中田 良子 8月13日</p>	<p>イオアン 大村 雄登 5月30日</p>	<p>長司祭イオフ 馬場 俊二 5月19日</p>	<p>イオシフ 久下 淳 7月4日</p>	<p>コルニリイ 佐藤 経子 11月30日</p>	<p>マトロナ 金田 孝子 8月24日</p>	<p>ダリヤ 白岩 フミ 8月9日</p>	<p>エレナ 江原 玉枝 5月4日</p>	<p>イウステイナ 池田 8月5日</p>
----------------------------	-----------------------------	----------------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	------------------------	--------------------------	------------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	---------------------------	-----------------------	---------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

ヒ	ツ	ジ	カ	イ
カ	ミ		チ	エ
リ		フ	ク	ツ
	ホ	シ		セ
ハ	ラ		ア	イ

11ページの
クロスワード回答